

「第6次宇都宮市総合計画」(素案)に関するパブリックコメントについて

1 パブリックコメントの実施状況

(1) 意見の募集期間 平成29年12月8日(金) ~ 平成30年1月8日(月)

(2) 意見の応募者数 8者(男性3名, 女性4名, 法人・団体1者)
意見数 35件

(3) 提出方法の内訳

	郵送	ファクシミリ	Eメール	持参	計
人数	0	1	2	5	8

2 意見の概要

(1) 「第6次宇都宮市総合計画」全体に関して

No.	意見の概要
1	目標年次2050年は長く, LRT事業に合わせた計画と読み取れ, 時代の変化に即さない状況が多々出てくると感じる。 (素案3ページ)
2	目標年次と計画の構成と期間における「平成31年」以降の表記について, 天皇の退位を見据えるべきである。 (素案3ページ)
3	国際平和社会対応が必要と感じる。
4	工事の施工認可が決まっていない現時点において, あいまいであるLRT問題を織り込んで策定するのは, 適当でなく, 尚早ではないか。計画から, LRT整備計画に関することを削除することを提案する。
5	全体的に項目ごとにきちんと分かれていて, 文章だけでなく図もあることで見やすくなっているが, 内容がつまりすぎていて何に一番力を入れたいのかわからない。

(2) 序論に関して

No.	意見の概要
6	市の現状や時代潮流の変化と展望にも各種学校や企業への外国人の転入が期待できることを記載していただきたい。
7	「現状分析」は, 過去50年を振り返り, 良い点と悪い点を明確にする必要があると考える。

(3) 基本構想に関して

No.	意見の概要
8	<p>「ありたい姿」は、シンプルかつ高い理念を示すべきで、それは「生命と財産を守る」ことであると考えており、「生命を守る」については健康寿命の増進、「財産を守る」については貧困対策や格差是正が重要である。</p> <p style="text-align: right;">(素案38ページ)</p>
—	<p>計画の目標として、次の3つが重要と考えるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">(素案38ページ)</p>
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人・自転車・自動車等を完全分離させた交通インフラの整備強化を図る。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住居の免震・高層化等で、地域別総合的再開発を推進し、生活の基盤である日照確保と省エネを含むライフライン保守容易化を図る。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衣・食・住関連産業等の地産地消化や匠の認定等で、高齢者の就労確保と若年層への知恵の継承によって、後継者不足の対策を図る。
—	<p>50年後のまちづくりの基本方向として、次の2つを提唱する。</p> <p style="text-align: right;">(素案40ページ)</p>
12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点ごとにテーマを指示し、ロケ地としての魅力あるまちづくりを提唱する。各拠点は、テーマに沿った衣食住の産業を起し、生活し、観光収益も増加させる。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点内の交通インフラは、極力徒歩を提唱し、顔なじみと健康増進を図る。拠点間の交通インフラは、大深度地下を電動車両で人や物を自動運転にて回遊させる。
14	<p>まちづくりの基本方向に高度人材として外国人留学生や多文化共生による社会の創造を都市の魅力発信の中に加えていただきたい。</p> <p style="text-align: right;">(素案40ページ)</p>
15	<p>宇都宮市はノンステップバスがあまりなく、車椅子で生活をしている人にとっては不便を感じる。そのような状況の中、LRTとバスを併用した交通は、本当に便利になるのか。LRTの整備と合わせ、バスについての検討をしてほしい。</p> <p style="text-align: right;">(素案40ページ)</p>
16	<p>第6次総合計画に、LRTの整備を「既定の事実」として取り上げるのは、いかがなものか。期待のないLRT整備を「交通未来都市」構想から削除すべきである。</p> <p style="text-align: right;">(素案41ページ)</p>
17	<p>「将来のうつつのみや像の実現に向けて」の「1 各主体の役割」のうち、「行政」において、次の下線部を追記してほしい。</p> <p>『市民の負託を受けた公共の担い手として、多様な主体の意志や活動、<u>市民の声</u>に基づく自治の実践と自治能力のさらなる向上に努め、<u>市民と共に歩む</u>市政運営に取り組みます。』</p> <p style="text-align: right;">(素案49ページ)</p>

(4) 基本計画に関して

No.	意見の概要
18	「課題」は、「ありたい姿」から「現状」を差し引くことで、求めることが可能かつ重要である。
19	人口密度が低い平野都市である宇都宮市では、車は必需であり、LRTの敷設で「中心地域は交通混乱」、「路線バスとの乗り換え」など市民の移動はとて不便利になると考える。移動の在り方について、再検討をお願いしたい。
20	宇都宮市の公共交通においては、「階層性は不便を意味する」と考えているので、「階層性」を謳わない公共交通ネットワークの整備にしてほしい。 (素案72ページ)
21	各分野別計画の中に、具体的な計画名や担当課の明記がなく、実施方法や評価の公表など、市民にわかりやすい具体的な表記が必要と感じた。
22	分野別計画の「教職員の資質・能力と学校の組織力の向上」という施策の、主な構成事業に「学校図書館司書の正規化」を追加してほしい。 (素案101ページ)
23	分野別計画の「学んだ成果を生かした活動の推進」という施策の、主な構成事業に「図書館司書の育成」を追加してほしい。 (素案103ページ)
24	火山噴火や雪害防止について、分野別計画に追加してほしい。 (素案123ページ)
25	分野別計画の「市民の市政への参画促進」という施策の、主な構成事業に「図書館協議会の設置」を追加してほしい。 (素案129ページ)
26	分野別計画の「環境保全行動の推進」という施策の目標に、「行政も」という文言を追加してほしい。 (素案161ページ)
27	分野別計画の「環境保全行動の推進」という施策の主な構成事業に「宇都宮市グリーン調達推進方針の推進」という文言を追加してほしい。 (素案161ページ)
28	将来に向けた駐車場（電気自動車など）の先行した整備について、分野別計画に追加してほしい。 (素案161ページ)
29	分野別計画の「良好な生活環境の確保」という施策の、主な構成事業に「PRTR指定化学物質の使用削減」、「農薬危害防止」を追加してほしい。 (素案162ページ)
30	分野別計画の「都市空間・交通」の分野における「概ね10年後のあるべき姿」として、「LRTのJR宇都宮駅東側の開業に…」とあるが、LRTについては、「市民の期待を確認できていない」状況であり、円滑で容易に施工できるとは思えないことから、表記を改めていただきたい。

3 1	建設60年以上になる住宅団地（市営住宅）の全面整備について、分野別計画に追加してほしい。 (素案173ページ)
3 2	鬼怒川の橋は、絶対数が足りていないために渋滞が起きていると考えられるため、取組に「鬼怒川に橋を増設」を加えてほしい。 (素案175ページ)
3 3	分野別計画の「効果的で効率的な行政経営システムの確立」という施策の、主な構成事業のうち、「民間活力の積極的な活用」を「民間活力の活用と見直し」に修正してほしい。 (素案181ページ)
3 4	隣接市町村との共同対応について、分野別計画に追加してほしい。 (素案181ページ)
3 5	(宇都宮市東部地域において) 市街地開発組合残余金などを財源に、周辺道路の整備をしてほしい。

3 今後の意見に対する対応について

パブリックコメントでいただいたご意見につきましては、計画への反映の有無などを含め、本市の考え方や意見に対する対応の方向性をそれぞれの意見ごとに示し、公表する。